

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

令和5年度病害虫発生予察防除情報第11号

きゅうり コナジラミ類の防除対策について

きゅうりにおいて、コナジラミ類（タバココナジラミ）の発生が平年より多い傾向にあります。タバココナジラミはウイルス病（キュウリ退緑黄化病）を媒介しますので、下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況

11月前期の巡回調査（8筆）の結果、寄生葉率は10.1%（平年 5.7%）、発生圃場率は100%（平年 60.3%）であった（図1、2）。

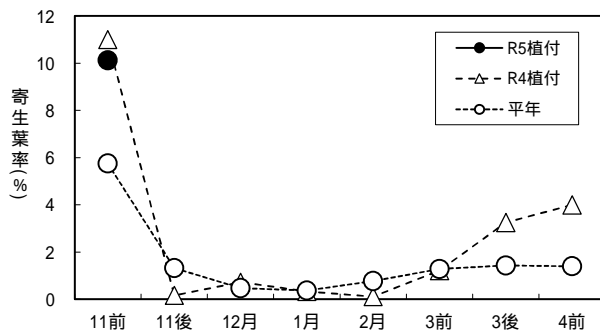


図1 コナジラミ類 寄生葉率の推移

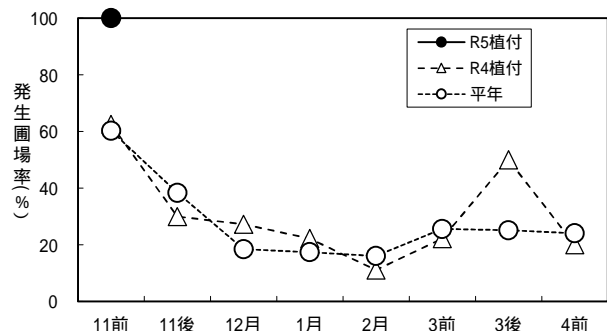


図2 コナジラミ類 発生圃場率の推移

2. 防除対策

- 本虫はウイルス病（キュウリ退緑黄化病）を媒介するので、特に生育初期の感染防止対策を徹底する。
- 本虫の生息場所となる施設内外の雑草等を除去し、環境整備に努める。
- 施設開口部への防虫ネット（目合い10.5mm内外）の被覆や黄色粘着シートの利用などにより成虫の侵入防止と密度低下に努める。
- 茎葉が繁茂して、本虫の密度が高くなると防除が困難になるので発生初期に防除を徹底する。
- 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統（令和5年長崎県病害虫防除基準P156～159の「作用機構による分類（IRAC）」参照）の薬剤を連用しない。

長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

（長崎県病害虫防除所）ホームページ」アドレス：<http://www.jpnp.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

（長崎県病害虫防除所）TEL：0957-26-0027

